

2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年7月27日

上場会社名 相鉄ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9003 URL <https://www.sotetsu.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 滝澤 秀之
 問合せ先責任者 (役職名) 経営戦略室部長 (氏名) 森 肇 TEL 045-319-2043
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	61,693	14.4	6,708	160.5	6,845	164.3	5,098	161.7
2023年3月期第1四半期	53,936	6.7	2,574	590.0	2,590	-	1,948	-

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 5,201百万円 (116.1%) 2023年3月期第1四半期 2,407百万円 (957.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	52.04	-
2023年3月期第1四半期	19.89	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	659,344	149,519	22.7
2023年3月期	646,951	145,789	22.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 149,435百万円 2023年3月期 145,696百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	10.00	-	15.00	25.00
2024年3月期	-	-	-	-	-
2024年3月期(予想)	-	15.00	-	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	125,900	9.4	9,100	100.9	7,900	94.1	5,200	116.9	53.07
通期	272,900	9.3	22,300	55.4	19,900	56.3	12,600	80.5	128.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	98,145,499株	2023年3月期	98,145,499株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	170,719株	2023年3月期	170,058株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	97,975,159株	2023年3月期1Q	97,977,611株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記の業績予想に関する事項につきましては、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、鉄道業、ホテル業において需要の回復傾向が見られ、増収・増益となりました。

連結営業収益は616億9千3百万円（前年同期比14.4%増）となり、連結営業利益は67億8百万円（前年同期比160.5%増）、連結経常利益は68億4千5百万円（前年同期比164.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は50億9千8百万円（前年同期比161.7%増）を計上するにいたしました。

各セグメント別の状況は以下のとおりであります。

a. 運輸業

鉄道業におきましては、2023年3月に全線開業した相鉄新横浜線や鉄道駅バリアフリー料金の収受開始に伴う増収があったものの、「新しい生活様式」の定着やエネルギー価格高騰の長期化により、引き続き厳しい事業環境となりました。このような事業環境のもと、21000系2編成（16両）を新造するとともに、「デザインブランドアッププロジェクト」による10000系1編成（8両）のリニューアルを実施いたしました。また、新たにいずみ中央駅にホームドアを設置したほか、海老名駅改良工事及び鶴ヶ峰駅付近連続立体交差工事を推進いたしました。営業面では、「HAZAWA VALLEY FES 2023」にて乗務員による鉄道部品の販売や大和駅地下化30周年と相鉄バス綾瀬営業所開設50周年を記念した「鉄道×バス部品販売会&リアルオークションin相鉄ライフ三ツ境」を実施したほか、「10代目そうにゃんトレインデビュー記念入場券」や「令和5年5月5日記念入場券」を販売いたしました。

バス業におきましては、関東運輸局長の認可に基づき、5月より武相ブロック（対キロ運賃区間）の運賃改定を行いました。また、高速乗合バス「海老名駅／綾瀬市役所～御殿場プレミアム・アウトレット」線の運行を新たに開始し、収益力の向上に努めました。

以上の結果、運輸業全体の営業収益は104億4千4百万円（前年同期比17.3%増）、営業利益は11億7千4百万円（前年同期比234.7%増）となりました。

b. 流通業

スーパーマーケット業におきましては、海老名市の「そうてつローゼンかしわ台店」や横浜市都筑区の「そうてつローゼンモザイク港北店」をはじめとする10店舗において改装等を実施し店舗の活性化を図ったほか、「そうてつローゼン白根店」周辺において移動スーパー「ローゼンGO」を展開する等、収益力の向上に努めました。また、新たに循環型農業の一環として、そうてつローゼン店内で発生した野菜くずなどを堆肥化し、その堆肥で育てた野菜の販売を開始したほか、新商品の開発・販売にも取り組みました。

その他流通業におきましては、6月にコンビニエンスストア事業において無人決済店舗「ファミリーマートニューウマン横浜/S店」を開業する等、厳しい事業環境のなか、積極的な営業活動に努めました。

以上の結果、流通業全体の営業収益は235億5百万円（前年同期比1.9%増）、営業損失は3千3百万円（前年同期は営業利益1億1千5百万円）となりました。

c. 不動産業

不動産分譲業におきましては、平塚市の「グレーシア湘南平塚海岸」、藤沢市の「ブランズシティ湘南台」及び東京都港区の「ブランズタワー芝浦」の集合住宅38戸を分譲いたしました。

不動産賃貸業におきましては、星川駅～天王町駅間高架下の新施設「星天qlay（ホシテンクレイ）」Bゾーンの2月オープンに続き、4月に「YADORESI（ヤドレジ）」を中心としたDゾーンをオープンいたしました。また、新規収益物件として、5月に新横浜駅前立地の「相鉄新横浜ビル（富士火災横浜ビル）」を、6月に「都立大学駅前ビル」を取得しました。さらに沿線開発においては、ゆめが丘大規模集客施設は、2024年夏の開業予定に向けて建築工事を進めたほか、横浜駅きた西口鶴屋地区における市街地再開発事業は、引き続き事務局業務に注力する等、魅力ある沿線の街づくりを推進いたしました。このほか、SDGsへの取り組みの一環として、6月にジョイナス「Tシャツ下取りキャンペーン」を実施いたしました。

以上の結果、不動産業全体の営業収益は119億4千7百万円（前年同期比1.2%減）、営業利益は32億7千3百万円（前年同期比9.4%減）となりました。

d. ホテル業

ホテル業におきましては、新型コロナウイルス感染症分類の変更に伴い、大幅な需要回復が見られました。「横浜ベイシェラトン ホテル&タワーズ」においては、開業25周年を迎えるアニバーサリーイヤーにおいてニーズを捉えた幅広い商品構成の見直しを行うとともに、コロナ禍に実行したコスト改善の効果を維持しつつ、原価高騰等によるコスト上昇を販売価格に転嫁し単価向上を図るなど、集客力及び収益力の向上に努めました。宿泊特化型ホテルにおいては、新型コロナウイルス宿泊療養施設運用のため休業していた「相鉄グランドフレッサ 大阪なんば」が、5月17日から営業を再開いたしました。

以上の結果、ホテル業全体の営業収益は125億5千万円（前年同期比86.2%増）、営業利益は18億3千5百万円（前年同期は営業損失18億4千1百万円）となりました。

e. その他

ビルメンテナンス業におきましては、スマートフォン等を活用したクラウド型施設管理ソリューション「Facility Log®」（ファシリティールog）や自動清掃ロボット等、ICTの積極的な活用による業務の効率化を推進したほか、積極的な営業活動により新規物件及び既存物件における周辺業務受注拡大を図るとともに、良質かつ安定したサービスの提供に努めました。

その他の各社におきましても、業績の向上を図るべく、積極的な営業活動に努めました。

以上の結果、その他全体の営業収益は58億8千4百万円（前年同期比7.8%増）、営業利益は4億3千8百万円（前年同期比33.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産につきましては、有形固定資産の増加等により前連結会計年度末に比べて123億9千3百万円増加し、6,593億4千4百万円となりました。

負債は、有利子負債の増加等により86億6千3百万円増加し、5,098億2千4百万円となりました。なお、有利子負債の残高は、借入金・社債合わせまして3,648億3千1百万円となり、96億1百万円増加いたしました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により37億3千万円増加し、1,495億1千9百万円となりました。なお、自己資本比率は22.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2023年4月27日に公表しました数値から変更しております。

第2四半期連結累計期間におきましては、ホテル業における増収により、営業収益は1,259億円（前回予想比2.0%増）、営業利益は91億円（前回予想比18.2%増）、経常利益は79億円（前回予想比19.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は52億円（前回予想比18.2%増）を見込んでおります。

また、通期におきましても同様の理由により、営業収益は2,729億円（前回予想比1.3%増）、営業利益は223億円（前回予想比15.5%増）、経常利益は199億円（前回予想比17.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は126億円（前回予想比20.0%増）を見込んでおります。

2024年3月期 第2四半期連結業績予想（2023年4月1日～2023年9月30日）

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	123,400	7,700	6,600	4,400	44.91
今回発表予想 (B)	125,900	9,100	7,900	5,200	53.07
増減額 (B-A)	2,500	1,400	1,300	800	—
増減率 (%)	2.0	18.2	19.7	18.2	—
(ご参考) 前年同期実績 (2023年3月期第2四半期)	115,098	4,529	4,069	2,396	24.46

2024年3月期 通期連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	269,400	19,300	16,900	10,500	107.17
今回発表予想 (B)	272,900	22,300	19,900	12,600	128.60
増減額 (B-A)	3,500	3,000	3,000	2,100	—
増減率 (%)	1.3	15.5	17.8	20.0	—
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	249,667	14,348	12,735	6,980	71.25

※業績予想につきましては、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,156	24,139
受取手形及び売掛金	12,483	10,309
棚卸資産	28,600	29,444
その他	12,087	12,413
貸倒引当金	△38	△11
流動資産合計	73,290	76,295
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	182,353	183,206
機械装置及び運搬具(純額)	36,141	37,272
土地	262,415	269,572
使用権資産(純額)	15,399	15,396
建設仮勘定	14,432	13,628
その他(純額)	5,968	5,808
有形固定資産合計	516,710	524,885
無形固定資産		
のれん	1,008	956
借地権	3,546	3,546
その他	5,091	4,765
無形固定資産合計	9,646	9,268
投資その他の資産		
投資有価証券	12,972	13,706
長期貸付金	1,341	1,675
退職給付に係る資産	12,491	12,638
繰延税金資産	6,703	7,128
その他	14,313	14,262
貸倒引当金	△518	△517
投資その他の資産合計	47,303	48,895
固定資産合計	573,661	583,048
資産合計	646,951	659,344

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,307	6,164
短期借入金	37,893	54,135
1年以内償還社債	—	10,000
リース債務	1,173	1,286
未払法人税等	1,346	2,377
契約負債	5,927	7,009
賞与引当金	2,336	854
その他の引当金	119	178
資産除去債務	26	—
その他	35,456	37,075
流動負債合計	93,586	119,081
固定負債		
社債	185,000	175,000
長期借入金	132,337	125,696
リース債務	16,919	17,416
再評価に係る繰延税金負債	23,223	23,223
退職給付に係る負債	18,540	18,548
長期預り敷金保証金	27,802	27,224
資産除去債務	3,097	3,104
その他	652	528
固定負債合計	407,574	390,743
負債合計	501,161	509,824
純資産の部		
株主資本		
資本金	38,803	38,803
資本剰余金	26,980	26,980
利益剰余金	75,842	79,471
自己株式	△353	△354
株主資本合計	141,273	144,900
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,166	4,680
土地再評価差額金	△394	△394
為替換算調整勘定	△411	△767
退職給付に係る調整累計額	1,062	1,015
その他の包括利益累計額合計	4,423	4,534
非支配株主持分	93	84
純資産合計	145,789	149,519
負債純資産合計	646,951	659,344

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
営業収益	53,936	61,693
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	38,055	39,989
販売費及び一般管理費	13,306	14,995
営業費合計	51,362	54,985
営業利益	2,574	6,708
営業外収益		
受取利息	48	49
受取配当金	88	83
為替差益	448	680
受取補償金	21	21
受託工事事務費戻入	38	14
雑収入	157	55
営業外収益合計	803	905
営業外費用		
支払利息	699	724
雑支出	88	44
営業外費用合計	788	768
経常利益	2,590	6,845
特別利益		
固定資産売却益	—	17
投資有価証券売却益	—	3
補助金	447	480
移転補償金	—	10
特別利益合計	447	511
特別損失		
固定資産売却損	—	4
固定資産除却損	44	24
固定資産圧縮損	428	471
事業撤退損	—	1
その他	1	—
特別損失合計	474	502
税金等調整前四半期純利益	2,562	6,853
法人税、住民税及び事業税	766	2,353
法人税等調整額	△154	△561
法人税等合計	611	1,791
四半期純利益	1,951	5,062
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2	△36
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,948	5,098

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	1,951	5,062
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	517	514
為替換算調整勘定	△33	△328
退職給付に係る調整額	△27	△47
その他の包括利益合計	456	139
四半期包括利益	2,407	5,201
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,394	5,210
非支配株主に係る四半期包括利益	13	△8

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	運輸業	流通業	不動産業	ホテル業	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
営業収益								
外部顧客への 営業収益	8,757	23,063	11,116	6,613	4,386	53,936	—	53,936
セグメント間の 内部営業収益又は 振替高	146	1	975	126	1,074	2,325	△2,325	—
計	8,904	23,065	12,091	6,740	5,460	56,262	△2,325	53,936
セグメント利益 又は損失(△)	351	115	3,611	△1,841	327	2,563	11	2,574

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス業等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	運輸業	流通業	不動産業	ホテル業	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
営業収益								
外部顧客への 営業収益	10,282	23,503	10,931	12,413	4,562	61,693	—	61,693
セグメント間の 内部営業収益又は 振替高	161	2	1,016	136	1,322	2,638	△2,638	—
計	10,444	23,505	11,947	12,550	5,884	64,332	△2,638	61,693
セグメント利益 又は損失(△)	1,174	△33	3,273	1,835	438	6,688	19	6,708

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス業等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。